



報道発表資料の配信日時 4月12日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度「北海道6次産業化サポートセンター (農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター)」の運営開始について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本道における6次産業化等を推進するため、令和5年度における北海道6次産業化サポートセンターの運営業務を公益財団法人北海道農業公社に委託し、4月14日(金)から、農業者等からの個別相談の受付を開始いたします。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>北海道6次産業化サポートセンター(事務局) (運営委託先:公益財団法人北海道農業公社) 所在地 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1-23 北海道通信ビル6階 電話 011-522-5671 メール rokusapo@adhokkaido.or.jp</p> </div> <p>※詳細につきましては、別紙をご参照ください。</p>		
参考	<p>【添付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度「北海道6次産業化サポートセンター(農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター)」の開設について 令和5年度サポートセンターパンフレット 		
報道(取材)に当たってのお願い	6次産業化等に取り組む又は取り組もうとする農業者等にとって、この「サポートセンター」は最も頼れる存在です。報道に当たっては、電話番号を含めた相談窓口についても周知いただきますようお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>公益財団法人北海道農業公社担い手本部農業経営相談室 (担当者:宇野) TEL 011-522-5671 北海道農政部食の安全推進局食品政策課6次産業化係 (担当者:松橋、三丈) TEL ダイヤルイン 011-204-5432 内線 27-682、27-685</p>		

令和5年度「北海道6次産業化サポートセンター

(農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター)」の開設について

【6次産業化サポートセンターとは】

6次産業化等に取り組む農業者等からの各種相談に対応するための相談窓口の設置及び、6次産業化等を含む経営全体の付加価値向上をめざす、経営改善方策の作成及び実行のための専門家（プランナー）の派遣等により伴走的に支援を行います。

【サポートセンターによる支援の流れ】

ステップ1 サポートセンター相談窓口へお問い合わせ

中小企業診断士や農業経営アドバイザーなどの資格を持つ企画推進員が、6次産業化等に取り組む農業者等からの「新商品の開発」や「新たな販路の開拓」などの相談に電話等で対応します。まずは、電話かメールでお気軽に御相談ください。

ステップ2 支援対象者の決定

さらに経営改善などに意欲のある農業者等が、サポートセンターによる経営改善の伴走支援（プランナーの派遣）を受けるには、「支援対象者」に選定されることが必要です。

ステップ3 支援対象者へのサポート活動

企画推進員は、支援対象者毎に6次産業化等の取組の現状や課題、経営指標を調査し、経営改善戦略の策定を支援します。

経営改善戦略の実行（課題の解決）にあたっては、専門家な知識や経験を有するプランナーの派遣を無償で受けることができます。

ステップ4 経営改善戦略のフォローアップ

支援対象者は、支援実施年度の翌年度から目標年度（3～5年間）までの間、経営改善の取組状況をサポートセンターに報告します。

サポートセンターでは経営改善状況の点検・評価を行い、必要に応じて経営改善戦略の見直しや助言、継続支援（支援対象者への選定が必要）を行います。

【運営委託先】 公益財団法人北海道農業公社

【運営主体】 北海道

【開設期間】 令和5年4月14日（金）から令和6年3月8日（金）まで
相談受付時間 9:00～17:00（土・日・休日、年末年始（12/30～1/8）を除く）

【相談窓口】 011-522-5671
札幌市中央区北5条西6丁目1-23 北海道通信ビル6階
公益財団法人北海道農業公社
担い手本部農業経営相談室内

※本件についてのお問合せ先

公益財団法人北海道農業公社担い手本部農業経営相談室 宇野 電話 011-522-5671
北海道農政部食の安全推進局食品政策課6次産業化係 三丈 電話 011-204-5432

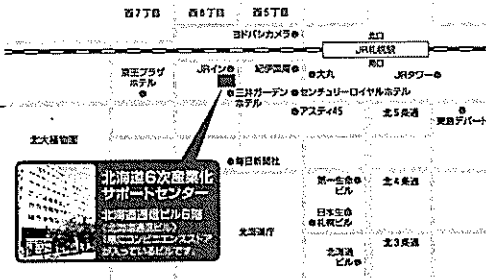
令和5年度

北海道6次産業化サポート事業

6次産業化等に関するお問い合わせ・連絡先

公益財団法人 北海道農業公社
北海道6次産業化サポートセンター
(農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター)

〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目1-23
北海道通信ビル6階
TEL 011-522-5671
FAX 011-271-3776
URL: https://www.adhokkaido.or.jp/to_keiei.html
E-mail: rokusapo@adhokkaido.or.jp



北海道

北海道農政部	食品政策課	〒060-8588	札幌市中央区北3条西6丁目 本庁舎7階	TEL 011-204-5432
空知総合振興局	農務課	〒068-8558	岩見沢市8条西5丁目	TEL 0126-20-0079
石狩振興局	農務課	〒060-8558	札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館	TEL 011-204-5847
後志総合振興局	農務課	〒044-8588	虻田郡倶知安町北1条東2丁目 後志合同庁舎	TEL 0138-23-1388
胆振総合振興局	農務課	〒051-8558	室蘭市海岸町1丁目4番1号 むろらん広域センタービル	TEL 0143-24-9813
日高振興局	農務課	〒057-8550	浦河郡浦河町栄丘東56号	TEL 0146-22-9341
渡島総合振興局	農務課	〒041-8550	函館市夷路4丁目6番16号 渡島合同庁舎	TEL 0138-47-9497
檜山振興局	農務課	〒043-8550	檜山郡江差町陣屋町336番地3	TEL 0139-52-6571
上川総合振興局	農務課	〒079-8610	旭川市永山6条19丁目1番1号 上川合同庁舎	TEL 0166-46-4993
留萌振興局	農務課	〒077-8585	留萌市住之江町2丁目1番地2	TEL 0164-42-8490
宗谷総合振興局	農務課	〒097-8558	稚内市末広4丁目2番27号	TEL 0162-33-2957
オホーツク総合振興局	農務課	〒093-8585	網走市北7条西3丁目	TEL 0152-41-0780
十勝総合振興局	農務課	〒080-8588	帯広市東3条南3丁目1番地	TEL 0155-26-9063
釧路総合振興局	農務課	〒085-8588	釧路市浦見2丁目2番54号	TEL 0154-43-9221
根室振興局	農務課	〒087-8588	根室市常盤町3丁目28番地	TEL 0153-24-5714

北海道農政事務所

北海道農政事務所生産経営産業部	〒064-8518	札幌市中央区南22条西6丁目 エムズ南22条東ビル 事務支援課	TEL 011-330-8810
函館地域拠点	〒040-1132	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	TEL 0138-38-9008
旭川地域拠点	〒078-8506	旭川市宮前1条3丁目3番15号 旭川地方合同庁舎	TEL 0166-30-9300
釧路地域拠点	〒085-0017	釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎	TEL 0154-99-8046
帯広地域拠点	〒080-0016	帯広市西5条南7丁目3番地 帯広地方合同庁舎	TEL 0155-24-2401
北見地域拠点	〒090-0018	北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎	TEL 0157-23-4171

農山漁村発イノベーション中央サポートセンター (株式会社ノノノ農援隊)	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2 URL: https://nou-innovation.com/	TEL 03-6734-1260
--	---	------------------



北海道の
6次産業化等を
専門家がサポートします!!

北海道6次産業化サポートセンター
(農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター)
(公財)北海道農業公社 担い手本部農業経営相談室内
ホームページ https://www.adhokkaido.or.jp/to_keiei.html



公益財団法人北海道農業公社は、北海道の委託を受け
 「北海道6次産業化サポートセンター（農山漁村発イノベーション都道府県サポートセンター）」を開設します。
 北海道の6次産業化等を専門家がサポートします

開設期間 令和5年4月14日金から令和6年3月8日金まで
 9時から17時まで（土日休日及び年末年始〈12/30から1/8〉を除く）


窓口相談


専門家（企画推進員）が常駐しています。
 まずは、電話かメールでお気軽にご相談ください。


☎ 011-522-5671


✉ E-mail: rokusapo@adholkaido.or.jp

企画推進員のご紹介

伊藤 康成

 農業技術研究、食品開発、新工場建設を
 前職で経験。6次産業化支援においては、
 農業者の技術面・経営面の強みを生かし
 ながら、財務的リスクの少ない事業計画
 づくりを推進する。
 ATG技術経営事務所 代表
 技術士（農業部門） 中小企業診断士 農業普及指導員
 ほか

藤田 嘉友

 オホーツク財団勤務時代に加工食品の開
 発を通じて地域振興に携わる。農林水産省
 の「6次産業化ボランティア・プランナー」
 としても活躍し、数多くの支援実績を有
 する。
 改良普及員（農業） 食品衛生責任者 ほか

岩下 浩

 日本政策金融公庫勤務時代に、農業・食品
 加工流通業の融資支援に携わる。独立後、
 農業専門の税理士として活動するとともに、
 平成25年から企画推進員に従事し、多数
 の6次産業化の支援実績を有する。
 税理士法人アンビシャス・パートナーズ 代表社員
 税理士 農業経営アドバイザー 北海道フードマイスター
 ジュニア野菜ソムリエ ほか

藤澤 貴樹

 美瑛町農協勤務時代に英瑛遊果の設立・
 運営に従事。独立後、食と農の事業者を
 中心に、マーケティング戦略策定から新商
 品開発、新規事業開発など、計画策定から
 実行まで幅広い支援実績を有する。
 株式会社農業の未来研究所 代表取締役
 行政書士・中小企業診断士事務所 経営の未来研究所 代表
 中小企業診断士 行政書士

専門家の現地派遣による支援

専門家（地域プランナー）を派遣し、経営戦略の策定・実行
 を重点支援します。

詳細はHPまたは窓口にお問い合わせください。

支援の流れ（※公募の中から対象者を選定して支援します）

- ① 経営改善などに意欲のある農業者等に対し、支援対象候補者の公募を行います。
- ② 応募のあった支援対象候補者から、地域支援検証委員会が支援対象者を選定します。
- ③ 企画推進員が経営改善戦略を作成し、地域プランナーを派遣し支援対象者の経営改善戦略の策定・実行を支援します。
- ④ 支援対象者は、支援実施年度の翌年度から自ら定めた目標年度までの間毎年、経営改善状況報告書をサポートセンターに提出します。
- ⑤ 経営改善状況報告書の点検評価を行い、必要に応じて経営改善戦略の見直しなど支援対象者に対して提言を行います。